

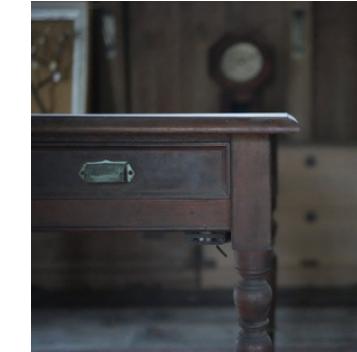
店内



東ノ蔵改装前



東ノ蔵で見つかった物 (一部、郷土資料館へ寄贈)



東ノ蔵(大正5年築)について

東ノ蔵の什器



大正時代嫁入り時の桐箪笥



昭和のビクターレコードプレーヤー



昭和30年代の新聞に包まれたミシン



昭和50年代まで愛用されていたデスク



東ノ蔵の改裝前まで
実際に使われていた鍵



ネジを巻けば鳴る柱時計



使われずにしまってあったMauthe の時計



大正5年築がわかる棟札
(現在も天井付近に設置)



背面に「昭和四年十月求之」
文字あり



背面に「昭和拾壹年九月」の
文字あり



背面に「大正貳年拾二月得之」の
文字あり



削り華を樹脂で固めた天板・奥多摩の
アカマツの支柱・スギのスツール



板目・柾目の組み合わせと
「浮造り」の工法で作られた椅子。
窓際はヒノキベンチ



江戸末期の桐箪笥扉を再利用し
彫刻を加えたカウンター



飯能の木材を使用した看板・
床材も西川材を使用



入り口取っ手は南面窓枠の
一部分を再利用

他にも「最新技術を応用した光る棚」「ヒノキのタンコロをプリンに見立てたスツール・おさんぽプリン」「背負える遊牧家具」など、会社さん・デザイナーさんのご協力をいただいています。